

総会では7民商の代表が、2015年中の多彩な活動を語ってくれました。

戦争法許さないレッドアクション 静岡民商 岡本千代美さん



戦争法阻止のための「県女性のレッドアクション」に静

岡民商からも多数が参加しました。参加してみると他団体の皆さんはとても華やかな衣装や、楽器を持ち寄り賑やかな宣伝をしていました。私たちは署名を集めていましたが、賑やかな宣伝に負けてしまいいかなかなか署名が取れませんでした。

民商婦人部らしい取り組みを考えた時、「やっぱり署名を集めることが民商の役割かな」と思い、思い切って自分達で独自の署名宣伝を行うことにしました。署名行動の当日、静岡市の呉服町商店街がお休みの日だったので、歩いていく人もまばらでしたが、静かな分ゆくり対話して署名を取ることが出来ました。いろいろな署名がある中、そのときは連日テレビで戦争法(案)に反対する人たちの姿が流されていたこともあり、婦人部の仲間とも戦争法阻止の署名で力を合わせる事が出来ました。はじめは街頭で「戦争法案反対!」と大きな声を出すことが恥ずかしかったのですが、何度か参加しているうちに平気になって、ちゅうちよせず署名を訴えることが

できるようになりました。一度参加すると意外と皆でワイワイ楽しく署名活動できると思います。ぜひ皆さんもまだ参加したことのない部員の方たちを誘ってみてください。

56条廃止をめざし市への陳情行動 磐田民商 鷲見香代子さん

所得税法第56条廃止をめざし磐田市に陳情書を提出しました。これにあと私が強く思ったことは、とにかく陳情書を議会に上げなければならぬということ。陳情書を市役所に郵送で送ると封も開けずに処分されてしまうこともあるという話を聞いたからです。それがとてもショックでした。県婦協が行った県経済産業部との懇談に参加した時、県庁の館内放送で「有給休暇を取りましょう」とずっとアナウンスをしていました。それを聞いて県庁の職員は仕事がいっぱいで休めず、こちらが陳情を出してもたくさんさんの仕事の中に埋もれてしまうのかなと思いました。だからとにかく何度か何度も訪問して議会上げてもらわなければならぬ内容だと強く思いました。



明治時代に決められた制度のために家族の給料が払えない、結婚

ができない、車のローンが組めない、伝統産業が守られない、過疎化が進むなどの弊害があるとなると、56条の廃止を求めないわけにはいきません。今後は実際にあった具体例を挙げて議会上に訴えたいと思います。

楽しいコンニャクづくり

島田民商 寺尾ふよさん



島田民商では4年前からお正月に向けてコンニャクづくりを行っています。部員の中に大変コンニャクづくりに詳しい人がいるので、教えてもらいながら賑やかにやっています。コンニャク芋は川根の農家から分けてもらい、出来たコンニャクは各自1キロくらいずつ持ち帰ります。コンニャクづくりの後はアルコール無しの忘年会です。自分たちで作る野菜たっぷりの料理、元気になるメニューで一人当たりコンニャク込みで1000円位でできます。3月の重税反対統一行動の時に開催する婦人部バザーで今年初めてコンニャクを販売しました。それがとても好評だったので来年もやろうと決めました。

私たちは毎月1回部会を開き、県婦協の取り組みやこれからのことを話し合います。いつも大体8人くらいしか集まりませんが、家で取れたネギやピーマン、イチジクのワイン煮や梅干しなどがテーブルいっぱい並び賑やかな部会になります。先日、民商の拡大キャラバンでは婦人部が炊き出しを行い、炊き込みご飯、豚汁、柿の白和えにととても喜んでくれました。

最後に、2016年は島田市で県

母親大会が開催されます。母親大会成功のため皆さんのご協力をお願いします。

全支部で取りくむ婦人部小集會

浜松民商 杉本正枝さん

浜松民商は11支部中全支部で小集會を開いています。支部によってバラつきはありますが8支部が2、3ヶ月に1度は開いています。100円の支部費から支給される1部員25円の援助金を小集會に活用しています。小集會の案内ハガキは全部員に出して、電話や声掛けをし誘い合って1人でも多くの人が参加できるように取りくんでいます。初めは2、3人から始まった小集會が1人2人と増えて、今では信頼して何でも話せる場所となり、「小集會が楽しみになっていく」と報告してくれる南支部では、3ヶ月に一度、部員宅か会員・読者の店を利用して必ず開催しています。ただ体を壊したり亡くなられた部員もいて参加者が少なくなってしまうことも現実です。

2ヶ月に一度必ず開いている萩岡支部では、民商の事務所に役員がおり茶とお菓子を準備して、近くの人どうし車に乗り合わせ集まっています。高齢の部員は「毎回、

車に乗せてきてもらえるから参加できていく」ととても楽しみにしてくれています。

また誕生日プレゼントはみんな分担して、100円から200円程度のもので、メッセージを付けて全部員に渡しています。定例的なかなか開かない支部は三役と事務局が協力し開催していますが、役員と事務局のみの取り組みになってしまっている支部もあります。しかし今後の取り組みを相談するだけでも良いと開いているところもあります。駅南支部ではハガキでの案内からすべて役員が行います。毎回10人以上の参加です。小集會場にもなる家族で切り盛りしている料理店では、大おかみさんから孫の代まで婦人部に入ってくれています。

私が所属する西支部でも2、3ヶ月に一度開いています。3、4人の時もありですが食事をしながら楽しく行っています。8月に9名の参加で退会された部員のお別れ会を兼ねて開きました。

全支部で開催できているため役員会で提起された活動の取り組みは支部ごとに行動することができています。集まって胸の内を話すことで、悩みを抱えているのは自分だけじゃないんだと、温かい仲間がいることで元氣になれます。若い仲間や新しい仲間が参加してもらえ取り組みにするよう課題もあります。全支部で開く小集會は婦人部活動の要になっていきます。

次号に続きます

